つながるひろがる“わ”

出雲市編

しまね学習支援プログラム「地域魅力化プログラム」を活用したみなさんの様子をお伝えします。

「参加型でやる気アップ！」

大社コミュニティセンター
マネジャー　立花　実希子　さん

当センター主催の「ファシリテーター養成講座」を受講された立花さん。今回は立花さんが大社コミュニティセンターの子育てサークルで実際にファシリテートされた様子を紹介します。

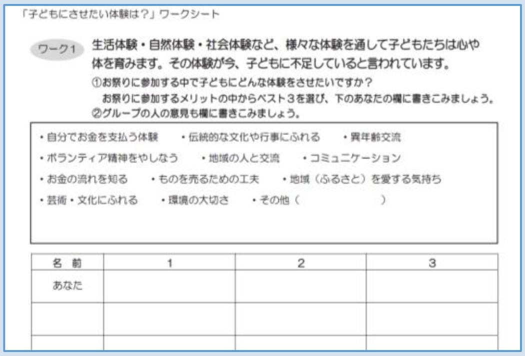
●想いを引き出す“ランキング”

Q：どのような経緯でサークルメンバーを対象にワークショップを計画されたのですか？

立花さん　大社コミュニティセンター（以下コミセン）では、子育て世代のつながりづくりを主な目的として、毎月子育てサークルを主催しています。そのサークル活動の一環として、例年、夏祭りで屋台を出店しています。今回は出店にあたって、メンバー間で想いを共有し、みんなのやる気を高めたいと思ってワークショップを計画しました。

Q：ワークショップ当日の様子を教えてください。

立花さん　ランキングの手法を取り入れたワークシートを使って話し合いました。これは『親学プログラム』『地域魅力化プログラム』をもとに、出雲市の派遣社会教育主事から助言をいただきながら作成しました。“夏祭りに参加するなかで、子どもにどんな体験をさせたいか”というテーマで全12項目からベスト３を選ぶものです。まずは個人で順位付けをし、その後互いの順位付けを伝え合いました。そのなかで、参加者同士で「どうしてこれにしたの？」と聴き合ったり、「それも大事だね。」と想いを共有したりする姿がありました。「夏祭りって多世代交流の意味もあるんだ。」「子どもたちにも販売の体験をさせたいね。」などの感想もいただき、意識の高まりを感じました。



「子どもにさせたい体験は？」ワークシート

ワーク1　生活体験・自然体験・社会体験など、様々な体験を通して子どもたちは心や体を育みます。その体験が今、子どもに不足していると言われています。
①お祭りに参加する中で子どもにどんな体験をさせたいですか？
　お祭りに参加するメリットの中からベスト３を選び、下のあなたの欄に書きこみましょう。
②グループの人の意見も欄に書きこみましょう。

・自分でお金を支払う体験　・伝統的な文化や行事にふれる　・異年齢交流
・ボランティア精神をやしなう　・地域の人と交流　・コミュニケーション
・お金の流れを知る　・ものを売るための工夫　・地域（ふるさと）を愛する気持ち
・芸術・文化にふれる　・環境の大切さ　・その他（　　　　　）

名　前	1	2	3
あなた			

【使用したワークシート】

【ワークショップの様子】

Q：ファシリテートではどんなことを意識されましたか？

立花さん　大切にしたことが２つあります。1つ目は、私は緊張するとどうしても早口になってしまうので、とにかくゆっくり、はっきり大きな声で伝えようと意識しました。2つ目は、参加者同士をつなぐということです。交流場面で「なるほど。○○さんはどう思いますか？」「○○ということですね。」というように、問いかけたり、話を整理したりするようにしました。全てうまくいったのかは分かりませんが、参加者同士が打ち解けた様子で話し合ったり、笑顔が見られたりして、ほっとしました。

●やっぱり学ぶって楽しい！

Q：今後についてお聞かせください。

立花さん　やりたいことがたくさんあるんですよ。中学生や高校生をコミセンの活動にもっと巻き込んでいきたいですし、夏祭りで子どもマーケットをしてみても面白いだろうし。そうした活動を計画するなかで、どんなアイスブレイクをしようかな、ワールド・カフェなら盛り上がるかなとか、この人が詳しいから参加してもらおうかな、とか考えてます。それも全部学んだから思えることで、『やっぱり学ぶって楽しいな』って思っています。それに、研修で出会った人とのつながりができて、講演をお願いしたり、電話でアイデアを求めたり、実際に話をしたりと、縁が広がり、そういうのも研修の良さですよね。これからも楽しみながらいろいろなことにチャレンジしたいと思います。

立花さんの活躍の場はコミセンに留まりません。お子さんの小学校でPTA役員を務める中でも、参加者の意欲を高めたいとの思いから、研修会の前にじゃんけんゲームをしたり、総会で意見交流の場をつくったりと学びの成果を発揮しているとのことです。きっとPTAの方々も“一緒にやりたい”“盛り上げたい”という気持ちが高まっていることでしょう。今後も立花さんの活動を応援しています。